

中央地区 地域福祉活動計画

1. 地区の概要

地区人口	3, 438人	民生委員児童委員	8人
65歳以上人口	1, 211人	幼稚園・保育所 認定こども園	2か所
高齢化率	35.2%	小・中学校	1校
年少者(0~14歳)人口	365人	令和4年3月31日現在	
人口の増加	△0.4ポイント	鳴門市全体の数値	△6.8ポイント
65歳以上人口の増加	0.3ポイント		2.6ポイント
年少者人口の増加	5.5ポイント		△15.3ポイント
高齢化率の増加	2.7ポイント		3.3ポイント

※ 数値は平成30年から令和4年までの間の増減を表しています。

2. 地区の現状と課題 (地域座談会で出た意見などをまとめています。)

- 個人情報保護の意識が高くなり、コミュニケーション不足になっている。
- 若い世代が地域活動自体に魅力を感じていない。
- 共働き世帯が増え、地域活動に充てる時間が持てない。
- 子育てや教育に手間と時間がかかり、地域活動に参加する心の余裕が持てない。
- 学校との関わりが少ないため、子育て支援に対する意識が乏しい。
- 災害時の避難所に関して、ペットの避難について考えている。
- 町内の防犯灯がLEDに変更されており、明るくなって安心できる。
- 年3回以上の防災訓練が出来ており、その中では実践的な訓練が出来ている。

3. 地区で取り組むこと

若い世代の地域活動への参加

1. 多くの世代が参加できる、地域の運動会やお祭りなどの行事をより充実させていく。
2. 清掃活動など、身近なところから地域活動への参加ができる取り組みを進める。
3. 市職員や元職員など、地域活動に理解があり協力的な人材が確保できるよう努める。

地域の人たちと連携した子育て支援の仕組みづくり

1. 専門家や実践者を講師に迎えて「地域での子育て」についての研修や勉強会を行う。
2. 他の先進事例などを参考にしながら、地域活動と子どもたちをつなぐ役割を担う人材や団体を発掘し、協働していく。

防災意識の維持と向上に向けた取り組みの推進

1. 地域全体で防災意識を持ち続けるために、現在実施している定期的な訓練を続けていく。
2. 防災や災害支援の専門家を講師として迎え、実際に災害が発生した際の対応策など具体的な学習を進めていく。
3. 倒壊の恐れがある空き家など、日常的な防災や防犯に関する情報の収集と共有を行い、行政への働きかけも含めた予防的対策を行う。

